

中区山下町公園前集積場所での環境改善の取り組みについて

1 趣旨

横浜中華街は、都心臨海部における重要な観光集客の拠点であるため、まちづくりの観点から、当局として関係局・神奈川県警察・地元等と連携して、ごみ問題、路上置き看板、治安対策などの環境改善に取り組んでいます。

この度、この一環として、長年の懸案でありました山下町公園前集積場所でのごみ問題を解決することができましたので、ご報告いたします。

2 概要

(1) 取組内容

- ・一部の集積場所（中区山下町公園前集積場所）では、収集曜日・排出時間が守られず、事業系ごみの排出、不特定多数の通行者によるごみの投棄などから、街の景観が損なわれていました。
- ・このため、社会実験として当該集積場所を暫定的に廃止し、新たに居住者の身近な場所（15 か所）に集積場所を設置しました。
- ・社会実験中は、地元町内会が警察署の協力のもとで監視カメラを設置するとともに、パトロールを行い、監視を強化しました。
- ・社会実験終了後、周辺住民アンケートを行うとともに、住民報告会を開催し、集積場所の正式廃止を決定しました。

(2) 実施団体・協力団体

- ・実施団体：横浜市（都市整備局、資源循環局中事務所、中区役所）、山下町町内会
- ・協力団体：横浜中華街「街づくり」団体連合協議会、横浜中華街発展会協同組合、神奈川県警察加賀町警察署、武松商事株式会社、横浜環境保全株式会社

(3) 取組経過

時期	内容
H28. 12 月頃～	当該集積場所付近の環境改善策について関係者で協議開始
H29. 8 月～10 月	住民向け説明会及び周辺店舗への周知
H29. 11. 6～	山下町公園前の集積場所を暫定廃止 代替として、新たに周辺 15 か所に集積場所を設置
H30. 1 月～2 月	周辺住民アンケート調査を実施（1 月 22 日（月）～2 月 2 日（金）） （主な意見） ・悪臭がしなくなった。不法投棄が減った。 ・まちがきれいになった。歩道が歩きやすくなった。 ・自分たちもごみに対する意識が高くなった。 ・人のマナーが変わらないと、いたちごっこになる。
H30. 2 月 26 日	住民報告会開催 →当該集積場所の正式廃止を決定

3 今後の取組

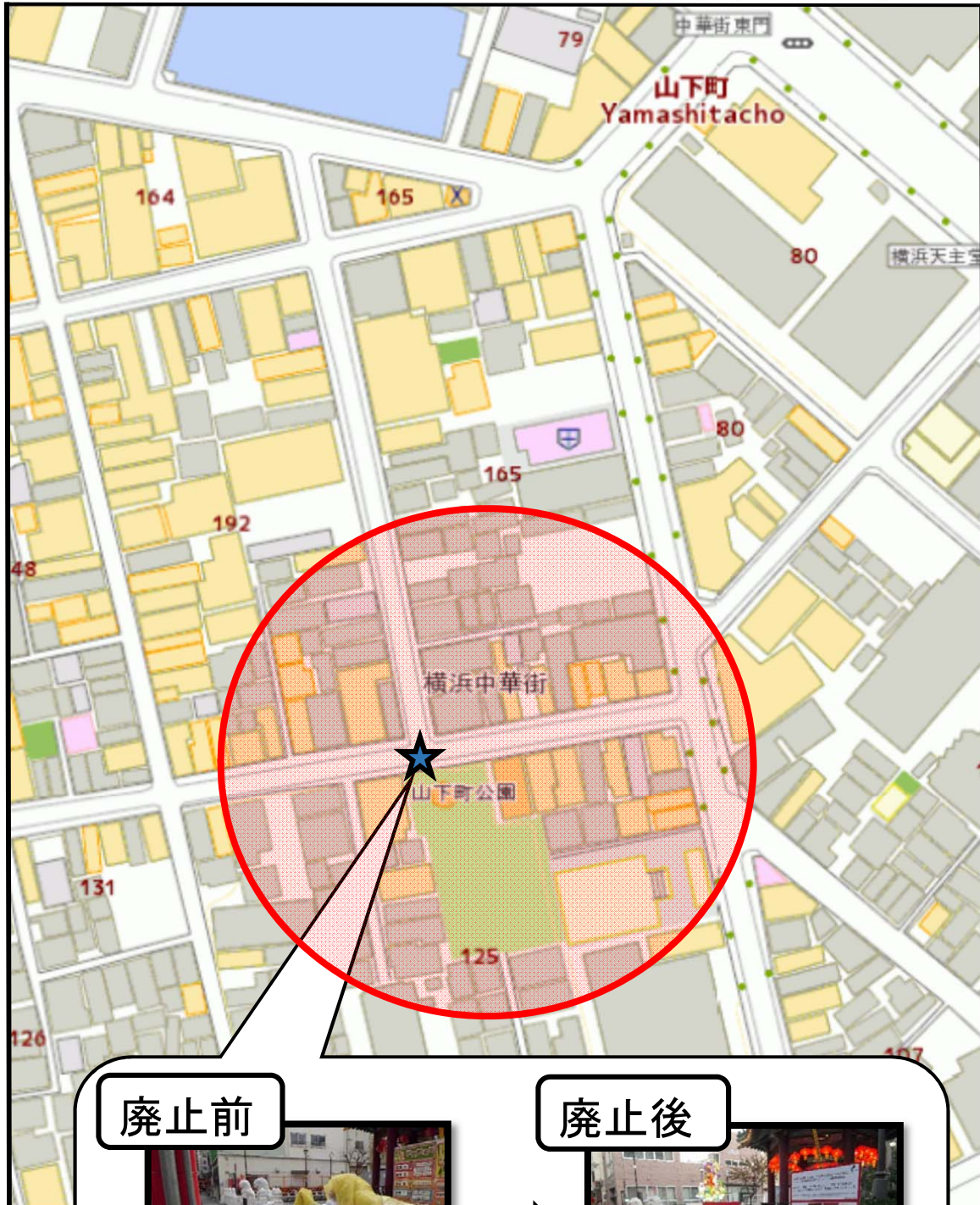
引き続き関係局・神奈川県警・地元等と連携して、美化活動や治安対策等の環境改善に取り組み、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、来街者はもとより、地域に住む方や働く方が、さらに気持ちよく過ごせるまちづくりを目指します。

<参考> 廃止集積場所及び新たに集積場所を設置したエリア(15か所)

- ★ 廃止した集積場所
- 新たに集積場所を設置したエリア(15か所)

GIS

Copyright(C) City of Yokohama. All rights reserved.



廃止前



廃止後

